

表紙の解説

題名：トノサマバッタ 作者：姫井 美貴子

技法はガリ版。油絵具、メディウム使用。

- ① 輪郭などをXAと絵画Aで製版。黒で刷る。黒には白を混ぜる。
- ② バッタの顔などを絵画Bで立体製版。緑で刷る。
- ③ 背景を絵画BとXA(草)で製版。うす黄緑で刷る。
- ④ ③の版をニスで部分的に伏せ、③と同色で刷る。
- ⑤ 羽を絵画Bで製版。茶色で刷る。
- ⑥ 足などを絵画Bで製版。黄土色で刷る。
- ⑦ 羽、足先を部分的に絵画Bで製版。赤で刷る。
- ⑧ 背景に穴あけで点々模様を作る。だいで刷る。
- ⑨ 背景全体を絵画で製版。顔などをニスで伏せ、薄墨で刷る。

10月号の表紙は栗林さんです

8月は休みです

9月の研究会 予定

日時：9月13日(日) 会場：初台区民会館

◆午前の部 (10:00 ~ 12:00)

1. 8・9月表紙絵制作プロセス解説 (担当：姫井)

◆午後の部 (13:00 ~)

1. 「簡易箔筒」を作る (担当：栗林)

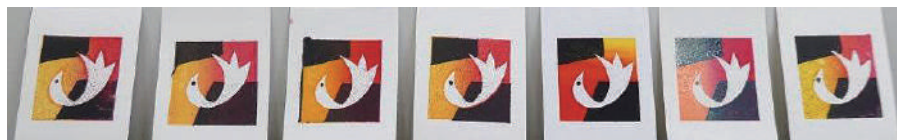
まだ自分で試作していませんので、要領良くいかないかもしれませんがよろしくお願いたします。

ご用意頂くものは、カッターナイフ・ハサミ・テープ・ボンド。

こちらである程度用意しますのでなくてもかまいません。

10月の講習担当は佐藤さんです

午後の部でニス原紙を使ったカッティング技法による完成した作品



7月の研究会 報告

◆午前の部 (10:00 ~ 12:00)

1. 6月表紙制作プロセス解説 (中野)

コロナ禍のため中止となった青森ねぶた祭。代わりに疫病退散祈願を込めて作られた「アマビエねぶた」の提灯、それをテーマに製作した。原画(写真1)から構想・スケッチを重ね、写真2の手順によりコロジオンで作成。背景の紺をさらに重ねるかどうか悩んだが、その手前で完成とした。

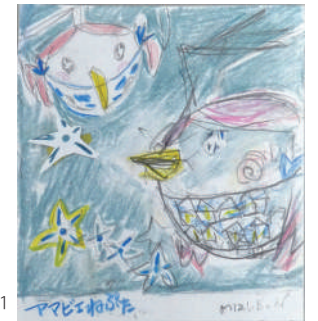


写真2

写真1



2. 一版多色刷作品「バランス」の制作過程説明 (三文字)

アラビア糊を使って埋めていく技法のプロセスをスマホ写真によって解説、インクの盛り上げ効果や重ね刷りによる色彩の深み等が特長。

3. 第34回孔版画展中止に伴う取消料の取扱いについて (三文字)

東京交通会館と交渉を重ねてきたが、最終的に折半の負担となった。これに伴い支払取消料は前期予約金の半分、すなわち $¥97,200 \div 2 = ¥48,600$ となる。会館からの正式書面が届き次第、21年度の第35回展の前期予約金を支払うこととなるが、この返金額と併せた差額金額 $¥48,600$ については、展覧会専用会計からではなく、一般会計の剰余金(今年度繰越金 $¥108,885$)から支出する提案があり、了承された。

4. 名誉会員の指名について (三文字)

退会された三井さんについては、会発足以来の会員であり、かつ長らく事務局を担当されてきた功労者でもあることから、規約第5条に基づき、名誉会員に推挙することとなった。これに伴い支払済会費の期間のみならず、今後とも会報を毎号送付することとなった。

(裏面につづく)